

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月8日
【四半期会計期間】	第33期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社ジャストシステム
【英訳名】	JUSTSYSTEMS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 福良 伴昭
【本店の所在の場所】	徳島県徳島市川内町平石若松108番地4
【電話番号】	088(666)1000(代表)
【事務連絡者氏名】	経営企画室経理グループ長 原 敏文
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿6丁目8番地1号 住友不動産新宿オークタワー
【電話番号】	03(5324)7900(代表)
【事務連絡者氏名】	経営企画室経理グループ長 原 敏文
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第32期 第2四半期連結 累計期間	第33期 第2四半期連結 累計期間	第32期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	6,569,445	7,879,393	13,966,623
経常利益(千円)	1,419,128	2,522,744	3,279,797
四半期(当期)純利益(千円)	1,020,623	1,576,207	2,235,128
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,057,942	1,550,479	2,152,507
純資産額(千円)	21,564,661	24,209,705	22,659,226
総資産額(千円)	24,164,944	28,102,993	26,560,816
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	15.89	24.54	34.80
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	89.2	86.1	85.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,572,337	2,046,794	3,488,576
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	271,640	3,979,681	4,271,683
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	8,633	6,904	14,198
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	11,689,934	7,893,699	9,821,837

回次	第32期 第2四半期連結 会計期間	第33期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	15.42	14.64

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、連結子会社のうち株式会社ジャストシステムサービスは平成25年9月30日に解散し清算することを決議し、現在清算中の会社であります。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策による円高の解消、株価の上昇などにより企業収益の改善や、個人消費が持ち直しの傾向にあるほか、2020年東京五輪開催による経済波及効果など、今後の国内景気回復への期待感が高まっているものの、海外景気は引き続き低調で、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、新商品・サービスの販売拡大に努めた結果、個人向け・法人向け事業がともに堅調に推移し、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益は、株式上場以来の最高益となり、営業利益、経常利益については、9四半期連続で過去最高益を更新しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は78億79百万円（前年同期比13億9百万円増）、営業利益は24億9百万円（前年同期比9億18百万円増）、経常利益は25億22百万円（前年同期比11億3百万円増）、四半期純利益は15億76百万円（前年同期比5億55百万円増）となりました。

当社グループの事業区分はソフトウェア関連事業のみであるため、セグメント情報の開示におけるセグメント情報に関する事項を省略しております。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億42百万円増加しました。主な要因は有価証券が39億円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて8百万円減少しました。未払金等が減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて15億50百万円増加しました。これは利益剰余金が15億76百万円増加したことなどによるものです。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ19億28百万円減少し、78億93百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、税金等調整前四半期純利益の計上などにより、20億46百万円（前年同期比4億74百万円増）となりました。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、有価証券の取得などにより、39億79百万円（前年同期比37億8百万円増）となりました。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、ファイナンス・リース債務の返済により6百万円（前年同期比1百万円減）となりました。

#### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

#### (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、6億81百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	66,163,200
計	66,163,200

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	64,224,800	64,224,800	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	64,224,800	64,224,800	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	64,224,800	-	10,146,515	-	5,355,754

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社キーエンス	大阪府大阪市東淀川区東中島1丁目3-14	28,234	43.96
浮川 初子	徳島県徳島市	1,838	2.86
浮川 和宣	徳島県徳島市	1,522	2.37
福良 伴昭	徳島県徳島市	1,100	1.71
株式会社SBI証券 BNP-PARIBAS SECURITIES SERVICES FRANKFURT BRANCH/JASDEC/GERMAN RESIDENTS-AIFM (常任代理人 香港上海銀行東 京支店)	東京都港区六本木1丁目6-1	857	1.33
芹澤 圭二	愛知県名古屋市中区	500	0.77
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町1丁目4	485	0.75
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカ ウント (常任代理人 株式会社みずほ 銀行決済営業部)	東京都中央区月島4丁目16-13	474	0.73
ドイチェ バンク アーゲー ロンドン ピービーノントリ ティー クライアンツ 613 (常任代理人 ドイツ証券株式 会社)	東京都千代田区永田町2丁目11番1号	439	0.68
計	-	36,051	56.13

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 64,220,500	642,205	-
単元未満株式	普通株式 3,900	-	-
発行済株式総数	64,224,800	-	-
総株主の議決権	-	642,205	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が600株含まれており、  
「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数6個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)ジャストシステム	徳島県徳島市川内町平石若松108番地4	400	-	400	0.00
計	-	400	-	400	0.00

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,161,837	7,993,699
受取手形及び売掛金	3,058,121	3,427,239
有価証券	4,000,000	7,900,000
商品及び製品	246,897	153,582
原材料及び貯蔵品	208,184	211,574
その他	504,733	403,678
貸倒引当金	7,362	69,798
流動資産合計	18,172,412	20,019,975
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,585,274	3,489,786
土地	3,569,077	3,569,077
その他(純額)	161,873	131,067
有形固定資産合計	7,316,225	7,189,931
無形固定資産		
ソフトウェア	620,389	509,622
ソフトウェア仮勘定	-	20,737
その他	1,821	1,648
無形固定資産合計	622,211	532,008
投資その他の資産		
投資有価証券	165,058	89,464
その他	284,908	271,612
投資その他の資産合計	449,967	361,077
固定資産合計	8,388,403	8,083,017
資産合計	26,560,816	28,102,993
負債の部		
流動負債		
買掛金	358,980	380,088
未払金	893,808	489,955
未払法人税等	877,218	985,148
賞与引当金	437,897	443,397
その他	1,012,630	1,281,286
流動負債合計	3,580,534	3,579,875
固定負債		
繰延税金負債	3,257	3,250
退職給付引当金	210,372	218,625
その他	107,424	91,536
固定負債合計	321,055	313,411

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債合計	3,901,589	3,893,287
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,146,515	10,146,515
資本剰余金	12,293,972	12,293,972
利益剰余金	382,642	1,958,850
自己株式	553	553
株主資本合計	22,822,576	24,398,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,950	5,936
為替換算調整勘定	169,300	195,014
その他の包括利益累計額合計	163,350	189,078
純資産合計	22,659,226	24,209,705
負債純資産合計	26,560,816	28,102,993

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,569,445	7,879,393
売上原価	1,829,337	2,145,252
売上総利益	4,740,107	5,734,140
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 3,249,786	<sup>1</sup> 3,325,014
営業利益	1,490,321	2,409,126
営業外収益		
受取利息	3,049	2,520
受取配当金	285	300
為替差益	-	49,302
受取賃貸料	52,432	62,202
その他	10,116	29,025
営業外収益合計	65,884	143,351
営業外費用		
為替差損	106,646	-
賃貸費用	18,881	23,094
その他	11,549	6,638
営業外費用合計	137,077	29,733
経常利益	1,419,128	2,522,744
特別利益		
固定資産売却益	-	28,663
投資有価証券売却益	-	19,599
特別利益合計	-	48,263
特別損失		
投資有価証券評価損	437	-
減損損失	-	21,573
子会社清算関連損失	-	14,167
特別損失合計	437	35,741
税金等調整前四半期純利益	1,418,690	2,535,266
法人税、住民税及び事業税	398,067	948,644
法人税等調整額	-	10,413
法人税等合計	398,067	959,058
少数株主損益調整前四半期純利益	1,020,623	1,576,207
四半期純利益	1,020,623	1,576,207

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,020,623	1,576,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	982	14
為替換算調整勘定	38,302	25,713
その他の包括利益合計	37,319	25,727
四半期包括利益	1,057,942	1,550,479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,057,942	1,550,479

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,418,690	2,535,266
減価償却費	446,961	421,649
減損損失	-	21,573
子会社清算関連損失	-	14,167
為替差損益(は益)	106,646	49,302
受取利息及び受取配当金	3,335	6,847
固定資産除売却損益(は益)	-	28,663
投資有価証券売却損益(は益)	-	19,599
売上債権の増減額(は増加)	14,650	369,117
たな卸資産の増減額(は増加)	18,270	89,924
仕入債務の増減額(は減少)	60,872	20,974
未払金の増減額(は減少)	66,525	403,852
前受収益の増減額(は減少)	60,067	353,217
その他	84,263	301,078
小計	1,982,275	2,880,469
利息及び配当金の受取額	3,378	7,101
法人税等の支払額	413,315	840,777
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,572,337</b>	<b>2,046,794</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(は増加)	-	240,000
有価証券の取得による支出	-	3,900,000
有形固定資産の取得による支出	36,520	8,449
無形固定資産の取得による支出	180,225	440,283
差入保証金の差入による支出	2,508	1,300
差入保証金の回収による収入	4,427	3,351
投資有価証券の売却による収入	4,300	96,050
その他	61,114	30,951
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>271,640</b>	<b>3,979,681</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	8,633	6,904
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>8,633</b>	<b>6,904</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>61,540</b>	<b>11,652</b>
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,230,522	1,928,138
現金及び現金同等物の期首残高	10,459,412	9,821,837
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,689,934	7,893,699

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
広告宣伝費	215,383千円	431,142千円
従業員給料手当	1,000,030	831,508
賞与引当金繰入額	177,760	208,712
退職給付費用	78,956	38,210
研究開発費	929,836	681,863
業務委託費	49,515	238,913
減価償却費	80,759	52,132
賃借料	112,064	125,331

2 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

当社グループの業績は季節的変動があり、売上高は第4四半期に偏っているのに対し、費用面では金額の大部分を占める人件費・減価償却費・業務委託費等といった費用は、売上高の多寡にかかわらず毎月発生する費用であるため、第2四半期連結累計期間の売上高に対する費用負担が大きくなっております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	12,339,906千円	7,993,699千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	649,971	100,000
現金及び現金同等物	11,689,934	7,893,699

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

当社グループは、ソフトウェア関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	15円89銭	24円54銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,020,623	1,576,207
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,020,623	1,576,207
普通株式の期中平均株式数(株)	64,224,317	64,224,317

注 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

株式会社ジャストシステム

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 茂木 浩之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 美久羅 和美 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ジャストシステムの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ジャストシステム及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。